

2021年9月1日

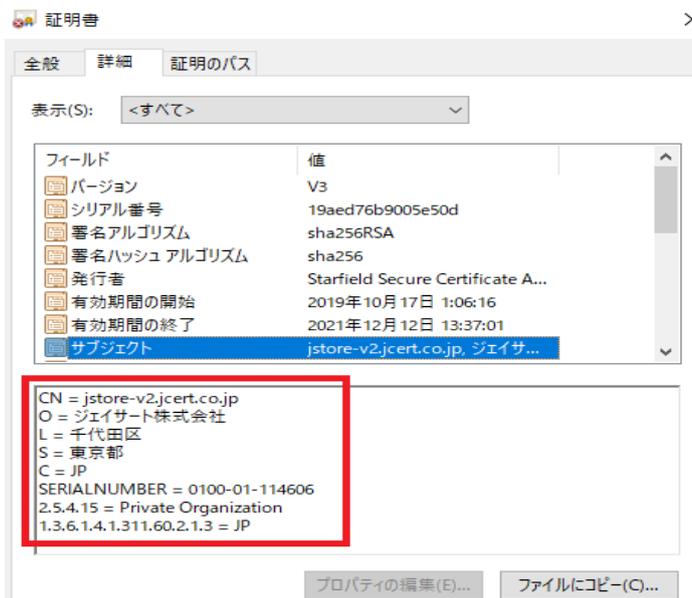
ジェイサート株式会社

証明書サブジェクト情報一部(OU)の非表示について

1. そもそも、証明書サブジェクト情報とは？

(ア) 次の EV SSL 証明書挿絵が如く、証明書のサブジェクトフィールドに登録される情報であり、**ブラウザ上で不特定のサイト訪問者が閲覧することを前提に、善意の第三者として証明書発行体である認証局が、業界ルールに準拠した公開データベース(弊社提携先 Go Daddy・Starfield Technologies(以下、提携先認証局)では帝国データバンクデータ情報、NTT i Town page を活用)に照らし、“なりすまし”されていないと認証した 組織情報(社名・住所)を、同データベースから転載(ほぼすべての日本法人は日本語表示)したものです。**

【EV SSL 証明書サブジェクト情報】



(イ) なお、提携先認証局では、一部の他社とは異なり、CSR 記載の英文組織情報を証明書のサブジェクト情報として利用・転載することはありません。(自己申告「オレオレ情報」ですの。)

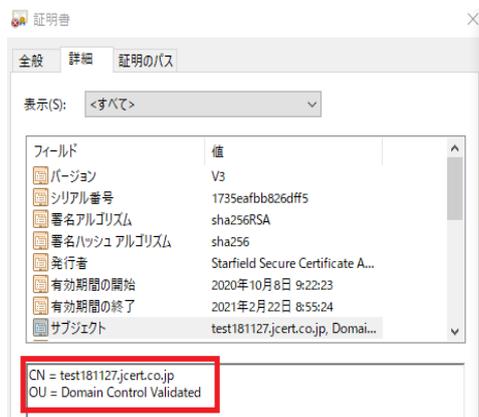
2. 証明書における OU 情報の取扱いについて

(ア)2021年6月、ssl/tls サーバ証明書サービスを統括するのグローバル業界団体（CA Browser Forum: <https://cabforum.org/>）において、2022年9月末を期限に一切のOU情報の記載を不可とし、非表示とする決定が成されました。（OU情報/部署名の実在根拠を認証する合理性がないことが理由です。）

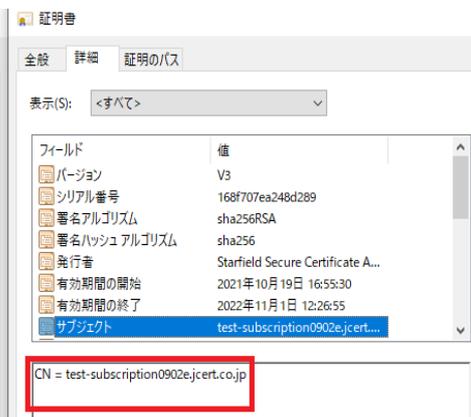
(イ)これにより、提携先認証局では、

- ① サイト運営主体の組織実在性を問わずに発行できる DV SSL 証明書において、従来、多くの認証局同様、**サイト訪問者に閲覧中のサイト運営主体の身元については未確認である旨 注意喚起する意図により、OU 情報として "Domain Control Validated" と記載する慣行**がございましたが、2021年7月末、この決定を前倒しで実施済です。**（2021年8月以降に発行された DV SSL 証明書の OU 情報から "Domain Control Validated" を削除し、非表示としております。）**

【従来】



【現在】



なお、この差分が DV SSL 証明書機能に影響することはありません。（証明書利用者が、ご自身のサーバ環境で証明書を特定する等「証明書機能」の範囲外で OU 情報を個別利用されている場合はその限りではなく、生ずる影響につき提携先認証局では一切関知しておりません。）

- ② EV SSL 証明書並びに OV SSL 証明書につきましては、今回の業界ルール変更前から一貫して、OU 情報は各組織の部署単位での実在根拠を認証する合理性がないため、非表示として来ております。
(2 ページ前の EV SSL 証明書 挿絵をご参照ください。)

以上